

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の変更を検討している。その理由は、時代と共に介護の資質が大きく問われ、それに伴い職場のキャリアパスも変更した。そこで14年間築いた理念を今一度時代のニーズにあったものに変更する必要がある為。また、選ばれる施設になる為にはメッセージがより分かりやすく、より伝わりやすい理念に見直してはどうかと考えている。	この度、理念を変更するに伴い、枝も部分である基本方針も時代ニーズにあった方針に変更する。	①職員ミーティングにて新人ベテラン各々一人ひとりが理念の案を出し合います。②その案を持って、理念の変更と職員の案をもとに運営推進会議にて推進委員の方々に打診します。③職員の知恵を結集し、討議を重ねた上で期間内に理念や基本方針までを決定し、推進委員やご家族に承認頂きます。	6ヶ月
2	2	新人プログラムにてユマニチュードの介護技術におけるOJTが少なく、今後の課題として自施設で取り組んでいるユマニチュード技法をカリキュラムに導入することで、より早く職場への浸透や利用者との信頼関係を築くことが出来る。	新人教育プログラムのOJTにてユマニチュードの項目を追記することで、利用者様との信頼関係をいち早く築いてもらう。	①新人プログラムの現状の見直しを教育担当者で行う。②ユマニチュードの教育プログラムを作るにあたってのメニュー作成を行う。③現在入社1年未満の職員にユマニチュード教育プログラムを受講してもらう。④来春新しい新人プログラムを設定し、実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。